

腫れや痛み出れば抜歯を



【問い】友人から親知らずは早く抜いた方がいいと言われましたが、抜いた方がいいのでしょうか？
(長崎市、22歳女性)

親知らず

【答へ】親知らずは智歯(第3大臼歯)ともいい、18歳前後

に生えてくる歯です。親が生え始めを知らないために親知らずという名がついたといわれています。もともとは上下左右に計4本あり、生まれつき親知らずがない人もいます。

親知らずは、まっすぐに生えて上下でかみ合い、むし歯などなくきちんと手入れができる場合は抜く必要はありません。しかし、現代人は顎が小さく、生えるスペースがないため、横向きに生えていたり埋まっていたりする場合があります。

親知らずは一番奥にあるため清掃が難しく、むし歯や歯周病になって歯肉の腫れや痛みを起しやすくなります。また手前の歯を押し、かみ合わせに影響することもあります。歯肉の炎症は体調が悪い時や、疲れた時に症状を繰り返しやすいので、何度か症状が出る

場合は抜歯をお勧めします。女性は妊娠中に親知らずが痛み出すことがあります。妊娠中はできるだけ薬の服用を避けたいので、妊娠の可能性がない時に抜歯を済ませてはいかがでしょうか。

抜歯は一般的に下顎に比べ上顎のほうが抜きやすい場合が多いですが、歯の形態やむし歯などの状態によって大きく変わってきます。また年齢を重ねると歯と骨が癒着してくることもあり、抜歯が難しくなってくる。

下顎の親知らずが深く埋まっており、根の先が神経に近く時間がかかる場合、また歯科恐怖症など不安を抱えている場合には全身麻酔を施して抜歯をすることもあります。その際は大学病院などの口腔外科に紹介されることもあります。

親知らずがあることで、一つ手前の歯が自覚症状を認めないうちにむし歯や歯周病になることもあります。親知らずが気になる場合はかかりつけの歯科に相談することをお勧めします。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

回答者 **まつた 松谷 康平**
 まつた 松谷 康平
 長崎市清石3丁目
 松谷歯科医院 歯科医師

